

出張報告

報告日 令和4年10月22日

会派名	民友
報告者氏名	相澤 宗一、佐藤 和典
種別	■調査研究（□行政視察） □研修会 □要請・陳情 □各種会議
用務	札幌市民防災センター 視察
日時	令和4年7月29日（金）9：40～11：20
場所 （会場）	札幌市民防災センター（北海道札幌市白石区南郷通6丁目北）
調査項目等	各種災害の模擬体験設備を備えた防災施設
概要	<p>○平成15年に開設された体験型防災学習施設で、「自分や家族と災害体験」「こどもの防災教育」「地域や企業での訓練」など一人ひとりに合わせた体験を提供。令和4年9月から令和5年3月頃まで全面休館期間とし、リニューアルが予定されている。</p> <ul style="list-style-type: none">・災害バーチャル体験コーナー 津波や土砂災害、都市型水害についてメカニズムや危険性を知り、災害発生の瞬間を風や座席振動の演出とともにCGを使った迫力のある立体映像で体感できるコーナー。22分間の3D映像を視聴し体感した。・地震体験コーナー 東日本大震災などの過去に発生した地震の再現による8種類の揺れを体感できるコーナー。関東大震災、阪神淡路大震災、中越地震モデルの札幌を震源として想定した揺れを実際に3グループに分かれてそれぞれ体感した。・消火体験コーナー 訓練用の消火器を使って初期消火の方法を体験し学ぶコーナー。住宅用消火器や家庭用簡易消火具などを展示。スクリーンに映し出される天ぷら油火災を2名ずつで水消火器を使って炎の下部を狙って消火体験をした。・煙避難体験コーナー 煙を充満させた建物内からの避難行動を体験するコーナー。実際の火災と同様、停電を想定した暗闇の中で非常口を探しながら3名ずつで避難体験をした。



	<p>・暴風体験コーナー 風速 10m/s、20m/s、30m/s の強い風を 3D 映像を通してよりリアルに体感するコーナー。暴風による災害の危険性を知り、事前対策など身を守る方法を学ぶ。4 名ずつ風速 10m/s の風を体感した。</p>  <p>○インストラクターからのまとめでは、緊急時にパニックとならないよう日頃からの「心の備え」が最も重要であるとのアドバイスを受けた。</p>
<p>所 感 等</p>	<p>【相澤宗一】 このところ記録的な大雨による洪水が各地で発生するなど、大きな災害が毎年のように生じている。本年も新潟県内（県北）において「これまでに経験したことのない大雨」とか「直ちに命を守る行動をとってください」という呼びかけがされる自体が生じた。 「直ちに命を守る行動を」とあっても、瞬間的な判断は訓練なしではなかなか難しいものである。このたび伺ったこの防災センターは、地震、火災、暴風をはじめとした体験コーナー、煙からの避難や消火活動など一度ならず何度でも訓練可能な設備である。 中越地震、中越沖地震のメモリアルも必要だが、災害の備えを体で覚えることはとてもよく身につくことから、身近に体験できる設備は必要であると感じた。</p> <p>【佐藤和典】 札幌市民防災センターは、地震体験や消火体験などのコーナーを備えた施設であり、各種災害の模擬体験を通じて、防火や防災に関する知識および災害時の行動を学習できる。 特に地震の体験では阪神淡路大震災や関東大震災など四種類の違いを体験することが出来、私は阪神淡路大震災を体験した。 また、火災の体験では、煙発生によって避難が困難となることを体験した。学校の児童や親子で来場している方が多く、市民に近いところで防災に対する意識啓蒙を促していることがわかる。 莫大な資金投入が必要であるが、防災・減災に向けて、ぜひ欲しい施設のの一つである。</p>